

令和2年度 事業報告書

- 1 育英学院概要
- 2 育英学院事業報告書
- 3 育英学院財政の概要

学校法人 育英学院

1. 育英学院概要

(I)基本情報

- ①法人の名称 学校法人 育英学院
- ②主たる事務所 住所 194-0215 東京都町田市小山ヶ丘四丁目6番8号
- 電話 042-775-3020 FAX 042-775-3023
- ホームページ http://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_us/ikueigakuin.html

(2)建学の精神

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従いつつ、カトリックの教育精神及び設立母体であるカトリック・サレジオ修道会の創立者ヨハネ・ボスコの教育理念に基づく学校教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする。

【学校法人育英学院寄附行為 第3条】

(3)学校法人の沿革

昭和 8 年	学校設立準備、学校設立代表者ヴィンセンシオ・チマツチ
9 年	東京育英工芸学校を創設、乙種工業学校として印刷科を設置
10 年 4 月 1 日	学校開設
13 年 4 月	木材工芸科を新設
15 年 2 月 22 日	財団法人組織とし、帝都育英学院と称する
17 年 3 月	甲種工業学校に昇格、帝都育英工業学校と改称
22 年 4 月	学制改革により帝都育英中学校を併設
23 年 3 月	学制改革により帝都育英工業高等学校と改称
24 年 4 月	電気科を新設
26 年 2 月 26 日	学校法人組織となり「学校法人 帝都育英学院」と改称
34 年 9 月 10 日	カトリック・サレジオ修道会より目黒サレジオ幼稚園（昭和24年3月30日開設）を移管される
34 年 9 月 10 日	目黒サレジオ中学校を設置する
35 年 3 月 12 日	帝都育英中学校、帝都育英工業高等学校の校名を「育英中学校」ならびに「育英工業高等学校」と改称
37 年 12 月 15 日	育英高等専門学校を設立する（既設学科：印刷工学科、電気工学科、工業意匠学科）
38 年 4 月 26 日	サレジオ高等学校を設置する（全日制：普通科）
38 年 10 月 3 日	学校法人名「学校法人 育英学院」と改称
38 年 10 月 3 日	学校法人東京サレジオ学園を吸収合併する (サレジオ小学校：昭和22年4月1日設立、サレジオ中学校：昭和23年3月14日設立)
40 年 3 月 1 日	育英工業高等学校を廃校する
42 年 3 月 13 日	足立サレジオ幼稚園を設置する 育英高等専門学校を「育英工業高等専門学校」と改称、 工業意匠学科を「工業デザイン学科」に変更改称する
43 年 3 月 30 日	川崎サレジオ幼稚園を設置する
50 年 1 月 30 日	川崎サレジオ中学校を設置する 印刷工学科を「グラフィック工学科」と改称する
51 年 2 月 23 日	目黒サレジオ中学校を廃校する
58 年 4 月 1 日	サレジオ高等学校、川崎サレジオ中学校、川崎サレジオ幼稚園を「育英学院」より法人分離 (新設法人名「学校法人サレジオ学院」と称する)
62 年 12 月 23 日	電気工学科収容定員450人から675人に変更認可
62 年 12 月 23 日	グラフィック工学科450人から225人に変更認可
63 年 4 月 1 日	情報教育センター設置、男女共学の実施
平成 元年 4 月 1 日	電子工学科、情報工学科を開設する 定員各45人
2 年 3 月 22 日	育英中学校を廃校する
平成 5 年 3 月 31 日	女子第1期生卒業
6 年 4 月 1 日	1年生混成学級編成 研究生第1期生入学 グラフィック工学科
7 年 4 月 1 日	1・2年混成学級編成 研究生第2期生入学 工業デザイン学科
9 年 2 月 12 日	グラフィック工学科をビジュアル情報工学科に、工業デザイン学科をデザイン工学科に学科名改称する
10 年 4 月 1 日	サレジオ文化技術交流センター（SITEC）での教育活動を開始する
13 年 2 月 15 日	専攻科生産システム工学専攻設置認可
14 年 3 月 11 日	育英工業高等専門学校のキャンパスを多摩ニュータウン町田グランネットタウン

17年 3月31日	小山地区（京王線：多摩境駅）に移転する計画を決定し準備に入る。
17年 4月 1日	東京都町田市小山ヶ丘4-6-8に育英工業高等専門学校キャンパス移転完了
17年 4月 1日	ビジュアル情報工学科第38期生卒業 同学科閉科
17年 4月 1日	「育英工業高等専門学校」の校名を「サレジオ工業高等専門学校」に改称する。
17年 5月13日	サレジオ工業高等専門学校町田キャンパス開所
19年 5月29日	サレジオ工業高等専門学校新校舎落成式
19年 5月29日	ビジュアル情報工学科廃止届。
21年 4月 1日	電子工学科の名称を機械電子工学科に改める。
27年 4月 1日	デザイン工学科の名称をデザイン学科に改める。
27年 4月 1日	町田サレジオ幼稚園を設置する（平成27年3月31日認可）

(4)設置する学校・学科

令和2年5月1日現在

学校及び学科名	設置年月日	校長・園長名	住 所	電話・FAX
サレジオ工業高等専門学校	昭37.12.15	小 島 知 博	東京都町田市小山ヶ丘四丁目6番8号	TEL 042-775-3020 FAX 042-775-3021
デザイン学科	昭37.12.15			
電気工学科	昭37.12.15			
機械電子工学科	平元.12.22			
情報工学科	平元.12.22			
専攻科 生産システム専攻	平13.2.15			
サレジオ中学校	昭23.3.24	北 川 純 二	東京都小平市上水南町四丁目7番1号	TEL 042-321-0312 FAX 042-321-0776
サレジオ小学校	昭22.3.29			
目黒サレジオ幼稚園	昭24.8.30	三 島 心	東京都目黒区碑文谷一丁目26番24号	TEL 03-3714-2531
足立サレジオ幼稚園	昭42.3.13	野 口 重 光	東京都足立区江北三丁目40番27号	TEL 03-3899-4497
町田サレジオ幼稚園	平27.4.1	松 永 伸 子	東京都町田市小山ヶ丘四丁目6番2号	TEL 042-775-3120

(5)学校・学科等の学生・生徒・児童・園児の現況

令和2年5月1日現在

学校・幼稚園名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数
サレジオ工業高等専門学校	専攻科	14	15	28	26
	デザイン学科	45	50	225	189
	電気工学科	45	44	225	185
	機械電子工学科	45	58	225	247
	情報工学科	45	42	225	228
サレジオ中学校		30	21	90	70
サレジオ小学校		30	12	180	109
目黒サレジオ幼稚園		160	89	450	333
足立サレジオ幼稚園		30	31	240	83
町田サレジオ幼稚園		60	35	180	94

(6)収容定員充足率

(毎年度5月1日現在)

学校名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
サレジオ工業高等専門学校	98.0%	97.2%	100%	93.1%	94.3%

※本科のみ

(7)役員の概要

定員数

理事：6人以上8人以内 監事：2人【学校法人育英学院寄附行為 第5条】令和2年5月1日現在

役員区分	氏 名	就任年月日	常勤 非常勤	主な現職等
功労者	並木 豊勝	平成26年12月2日	非常勤	育英学院理事長
学院長 高専校長	小島 知博	平成17年5月31日	常勤	育英学院学院長 サレジオ工業高等専門学校長
中学校長	北川 純二	平成26年4月1日	常勤	サレジオ中学校長 サレジオ小学校長
評議員互選	三島 心	平成30年4月1日	常勤	目黒サレジオ幼稚園長
評議員互選	木戸 能史	平成20年2月21日	常勤	常務理事
評議員互選	小島 勉	平成14年4月1日	常勤	常務理事
功労者	木村 彰男	平成31年4月15日	非常勤	外部理事
功労者	米本 光男	平成23年5月26日	非常勤	外部理事
監事	長谷川 純也	平成19年4月15日	非常勤	(学)サレジオ学院理事
監事	渡辺 新	平成15年4月15日	非常勤	税理士

※ 責任限定契約は理事長を除く非常勤役員と締結している

(8)評議員の概要

定員数：18人

【学校法人育英学院寄附行為 第19条】 令和2年5月1日現在

評議員区分	氏 名
高専校長	小島 知博
小学校長	北川 純二
幼稚園長	三島 心
幼稚園長	野口 重光
幼稚園長	松永 伸子
教職員	横山 松生
教職員	北川 大介
教職員	山野邊基雄
教職員	高橋 孝
同窓生	桂嶋 博明
同窓生	河村 英和
理事互選	並木 豊勝
理事互選	米本 光男
保護者	関根 優司
保護者	向谷 亮
学識経験	濱口 秀昭
学識経験	木戸 能史
学識経験	小島 勉

(9)教職員の概要

令和2年5月1日現在

学校名 \ 職名	校長 園長	教授	准教授	講師 教諭	助教 助手	非常勤 講師	事務 職員	非常勤 職員	合計
法人本部	人	人	人	人	人	人	人 3	人	人 3
サレジオ工業 高等専門学校	1	18	19	11	4	52	23	15	143
サレジオ中学校	1			9		1		1	12
サレジオ小学校	(1)			9		4	1		14
目黒サレジオ幼稚園	1			21		4	4	11	41
足立サレジオ幼稚園	1			6		3		4	14
町田サレジオ幼稚園	1			6		9	2	8	26
計	5	18	19	62	4	73	33	39	253

(10)その他

『学校法人育英学院寄附行為』は

http://www.salesio-sp.ac.jp/main/pdf/about_us/ikueigakuin/donation-20200401.pdfを参照。

2. 育英学院事業報告書

I 理事長・理事会

I. 事業計画

I 常務理事中心のワーキンググループの運営

昨年度始まったワーキンググループを、本年度も継続して行っていく。このワーキンググループでは今年度は特に以下の点について重点的に取り組む。

- (1) 育英学院設置の学校・幼稚園において定員充足に向けての施策の検討
⇒町田サレジオ幼稚園経営会議を通年通して実施
- (2) 育英学院全体の財政黒字化の施策の検討
⇒当年度未実施の為、継続
- (3) 育英学院で直面している課題・問題の洗い出し
⇒各所の人事計画の相談、募集についての検討を実施、今後継続
- (4) 目黒サレジオ幼稚園の園舎建て替えについて検討
⇒理事を中心に基本的方針の確認、会議を実施
- (5) サレジオ工業高等専門学校空調機改修工事の検討
⇒第Ⅰ期工事を終了
- (6) その他、育英学院全体をより活性化するための施策の検討
⇒一部実施

ワーキンググループで取り扱ったことは理事会の際に報告をし、理事会でより必要な検討を行う。

⇒ 理事会や常任理事会で進捗状況の報告を実施

2 法人本部

I. 事業計画

一般の方針

I 内部監査のチーム編成と強化、監事との連携を図る（継続）

ここ数年、内部監査と監事監査を同時期に行い、進行年度の運営状況等のチェックを行っている。

今年度も引き続き、内部監査と監事監査を同時期に実施することで連携を図り、より一層強固なチェック体制を設ける。また文科省調査時の指導より、実施前に監査計画を作成することを継続する。内部監査については監事監査のヒアリングと並行して書類監査を行う。また会計の監査のみならず、経営面や運営面の観点からの監査を模索する。

⇒監事の交代に伴い、円滑な業務引継ぎを実施。各校長・園長とヒアリングを実施

監査法人の担当者との連携が不足しているため、今後改善を行う

2 規則・規程の見直しと改正を引き続き行う（継続）

規則・規程は運営上、必要なものであるが、時代の流れに併せて、改正することが必須である。私学法改正に伴う寄附行為の改定は適宜行ってきたが、現行の規則・規程について、今年度も引き続き、昨年度未達であった規則・規程を全面的に見直し、必要に応じて改正を実施するように努力する。また必要に応じ、吟味した上で、新たに規程を制定することも検討する。

⇒一部実施。就業規則を含め、規則・規程の整備を継続して実施予定

3 法人本部業務の強化のために

法人内の事務経理のみならず様々な事務分野での技術力を高めるため、また最近の社会状況に乗り遅れることのないように法人部職員を研修会に積極的に参加するように促す。また研修会で得た情報を必要に応じて各学校の事務職員へと伝達する（継続）。

また専任職員3名体制で行ってきた法人本部事務であったが、中長期的に安定した人事配置を行うために、幅広い年齢層の職員を確保していく必要が有る。とりわけ、管理職年齢層の職員の採用と課長と法人の諸業務を主に任せることのできる主任の養成体制が必要である。直近として、2021年度以降に専任職員の補充が必要となる。

法人本部強化のために経費の不足が見込まれる。そのため、以下の通り検討している。

⇒採用活動について、未実施。今後継続して採用活動を実施。

本部負担金

⇒本部費の値上げを実施。在籍数の減少により、本部負担金収入の見込みを下回る。

4 人件費

(1) 役員報酬及び理事長報酬は前年度と同じ処遇とする。

(2) 事務担当職員の賞与は、サレジオ工業高等専門学校の月数を参考とすることにする。

⇒上記目標通り、実施。

具体的事業計画

・金庫購入の計画

法人本部で取り扱う文書において、取り扱いの気を付けるべき文書が増えてきていることから、現在の金庫では容量不足となってきた。防火耐火や安全面を十分に考慮し、金庫の購入を検討する。

管理用機器備品（資産）予算：500,000円

⇒運用方法の再検討により、未実施。

3 サレジオ工業高等専門学校

2020 年度 事業報告書

令和 2 年度 教育研究計画の概要

校長目標は「選ばれるサレジオ高専」を強く意識し、本校の価値や魅力を向上させることを目的としている。

令和 2 年度重点施策

(1) 教育・研究力の強化（魅力的な学生を育てる）

<1> 教職員によるアシステンツァの実践強化

学生や保護者との関わり方を学ぶ機会を 9 月、後期が始まる直前に設けた。授業、クラス運営や課外活動など学生の学校生活のさまざまな場面で学生のみならず、その保護者との間にも信頼関係を築くことができるための意見交換の場を持った。

<2> 退学者の減少

退学者数の減少への取り組みは、わずかだが減少した。来年度も退学者の減少にむけて取り組みを継続する。

<3> 教育の質保証と向上

JABEE 受審の年に当たっていたが、コロナウィルス感染予防のために 21 年度に延期となった。

(2) 社会貢献力の強化（信頼を集める学校）

<1> 地域社会との連携

小中学校からわずかだが、特別授業の依頼を受けて教員を派遣した。また地元広報誌（アレサ）制作による町田市小山地区の町内会、商栄会、商工会議所との交流活動や八王子市の「いちよう塾」の講座をはじめ、相模原市・座間市の主催する市民大学の講座、すべてコロナウィルス感染予防のため中止となった。

<2> 産学連携の推進

大学コンソーシアム八王子主催の研究発表会に学生たちが参加し、数名が受賞でき、サレジオ高専の存在感を示すことができた。残念ながら大学コンソーシアム八王子以外の活動はコロナウィルス感染予防のため中止となった。2021 年度も継続して地域に立地する企業や自治体との交流・連携を密にし、社会実装教育を念頭においた連携を強化して、本高専の地域における貢献度をあげていく。

<3> 学校広報の推進

1 階エントランスの展示コーナーのリニューアルとして大型スクリーンの導入し、イベントに活用した。学習の新しいツールにし、また地域や企業との交流の場とする取り組みは実現できなかった。また

ホームページの有用性を広げ、コンテンツの充実を図った。特に卒業生の紹介を充実させることで、本校のプレゼンスを高めることができた。

（３）経営力の強化（継続的に発展する学校になる）

<1> 教職員の業務遂行能力の向上

SD（Staff Development）システムを運用した研修は実施に至らなかった。SMS（サレジオ・マネジメントシステム）の見直しは21年度に持ち越すこととした。

<2> 受験者数の増加

2021年度入学者は146名となり、定員確保ができなかった。コロナ感染予防のために人数制限をかけて説明会、体験入学を行ったことが減少の原因の一つである。また神奈川県をはじめとする近隣地域の募集の情報が十分に集められなかったことも要因に挙げられる。2021年度は定員確保のためにいろいろな工夫と努力をして、180名定員獲得を目指す。

<3> 財務計画

大規模修繕の計画を進める中、本校には修繕費を含む特定資産の積み上げが薄いことが大きな問題である。しかし、今年度は、積み上げ目標には届かなかった。来年度は目標額の特定資産を確保できるようにする。

（４）特記事項：サレジオミッションの実践

<1> 司牧目標

サレジオ会の指導方針であるサレジオ・ストレンナに述べられている「誠実な社会人、キリストに倣う者」の精神を本高専の教育目標に照らしつつ実現することを目標とし、特に「神からの呼びかけに気づいて、応える」ことをどのように伝えるか工夫をした。

教職員に月2回小講話を実施し、対面授業の再開とともに月例ミサを行った。21年度はミサを月2回実施し、チャペルの開放を検討している。

4 サレジオ小学校・中学校

I. 令和2年度教育目標

“誠実な社会人 キリストにならう者”

——みこころが天に行われるとおりに、地にも行われますように——(マタイによる福音書 6 章 10 節)

イエス・キリストが示した価値観を大切に、生きる者になろう、ということである。サレジオ小学校・中学校は、まずカトリック・ミッションスクールである。

カトリック学校、またカトリック学校に在籍する子どもたち、教職員のミッションとは何か。以下の総長のことばに記されている。

「若者のための使徒、宣教者となることにおいて、弱さ、時には無力な状況が広がりつつあります。同時に、社会人としての責任、社会正義、福音的価値のしっかりとした意識を若者に教育しないという危険があります。その意識は、生き方のプログラムとして、他者への奉仕、公共生活への責任、人としての誠実さ、あらゆる腐敗に対する“アレルギー”、移住の世界に対する感受性、贈りものである「皆の家」をつくること、無力な人、声なき人、打ち棄てられた人を守るために献身することなどを内面化させます。

私は思います：こういった価値を教えられないなら、私たちは何をしようとしているのでしょうか？イエスの名によってどのような福音宣教をしているのでしょうか？」

サレジオ会総長 アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父

教職員はもちろんのこと、子どもたちも同世代の若者たちの使徒となることを求められている。教職員と保護者が総長の言うような福音の価値観を知り、納得し、自分のものとすることによって、日々の教育活動を通して子どもたちに伝えていくこと。そして子どもたちも、その価値観によって日々接する人たちと関わるができるようになること。

これが私たちの目標である。

2020 年度はコロナ禍にあって学校活動自体が制限され、様々な行事も中止、縮小せざるを得なくなった。その中であって教職員も児童生徒も、できうる限りのことをやってきたと思う。もちろん、もっとできたことも、精度を高めることもできただろう。しかし、精神的・肉体的ストレスは決して低いものではなかった。

昨年度、特に 1・2 学期を乗り越えることができたのは、教職員の頑張り、保護者の理解・協力、児童生徒の元気な笑顔であった。

1 学期・2 学期の学校の動き

2020 年 2 月 28 日～6 月 1 日 小中とも休校 その間、オンライン朝礼・学習を実施

6 月 2 日 中学校分散登校開始

6 月 3 日 小学校分散登校開始

6 月 6 日 入学式（午前小学校、午後中学校）

6月22日～時短だが全員登校（小中）始まる
 6月29日 小学校午後授業を開始、中学通常登校開始
 7月29日～31日 中学校期末試験
 7月31日 小学校一学期終業式
 8月7日 中学校一学期終業式
 8月24日 二学期始業式
 8月25日 小学校初めての保護者会（学年ごとに）
 9月25日 小学校6年生、修学旅行中止の代替として、学校にてお楽しみ会
 9月27日～30日 中学校修学旅行（熊本・天草・長崎）
 10月5日～ 小学校、教育実習生を受け入れ（2名）
 11月3日 小学校文化祭 規模縮小で展示作品鑑賞のみ
 中学校は学年ごとに動画を作成・配信・鑑賞会
 11月5日 中学校慰霊祭（小中分散して実施）
 11月12日 小学校慰霊祭
 11月14日 中学校、来校しての最初の保護者会 全体会なし
 12月17日 小学校クリスマスの集い（リモートビンゴ大会）
 12月23日 小学校オンライン終業式、中学校終業式（含クリスマスの集い）

Ⅱ. 令和2年度重点課題

1. 定員確保を目指して募集活動の内容を見直す。
 定員確保を目指したが、2019年度を下回った。
2. 個々の教員がそれぞれ培ってきた経験を踏まえ、その上に現在多方面から求められている動き（危機管理、いじめ防止対策、働き方改革、新指導要領など）に迅速で柔軟な対応をしていくために、研修や会議を通して対策をたて、教員間の意思疎通を図り、児童生徒の指導に生かしていく。
3. 教職員と保護者との信頼関係をどのように築き、深めていくか。保護者対応についての研修を行う。
 2. 3. については、コロナ過で研修も思うようにいかなかったが、各教員が保護者とのコミュニケーションをよくとっていき、大きな問題も起きることはなかった。保護者の理解・協力があつたればこそである。
 児童生徒同士の接触が制限されていたためトラブルは少なかったが、反面、お互いの関わりを通して身に着けていくことの重要性にあらためて気づかされた。

Ⅲ. 児童生徒募集

在籍数

小学校	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
31年度末	20	17	22	18	20	18	115
令和2年度予定	14	20	17	22	18	20	111
中学校	1年生		2年生		3年生		合計
31年度末	24		25		21		70
令和2年度予定	21		24		25		70

募集活動

小学校

学校説明会（５月、９月）

受験サイト内広告（３月～１２月）

中央線沿線私立小学校合同相談会（２月）

中学校

東京都私立学校合同相談会（５月）

学校説明会：６月、９月、１２月

東京都私立中高連盟第ⅠⅠ支部合同相談会（６月）

小中共通

小金井市子育て冊子広告（４月～３月）

小教区やミッション系幼稚園・保育園・小学校への働きかけを促進する。

管区の活動の中で本校を紹介してもらう。

多くの説明会が中止またはオンラインになった。小学校の説明会は校内での１回のみ。

中学校も校内説明会の２回のみ。

管区の活動の中で本校を紹介してもらうことをもっと積極的に取り組みたい。

Ⅳ．主な工事予定

Ⅰ．大きなものは未定

大きな樹木の手入れに着手できた。

5 目黒サレジオ幼稚園

サレジオ家族 年間目標 (Strenna 2020)

「Good Christians and Upright Citizens」

～ 誠実な社会人、キリストに倣う者 ～

I. 教育方針

【園のこころ】 きよいこころ げんきなこども

(1) 教育目標

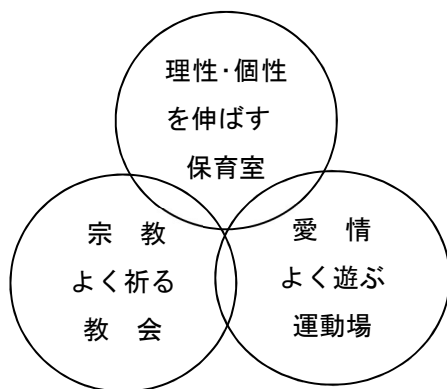
- ・キリスト教の価値観と創立者ドン・ボスコの教育理念に基づき、自然豊かな広い園庭を中心とした環境と暖かい家庭的雰囲気の中で、のびのびとした活動を通して子どもたちの心の教育に力を入れる。
- ・ドン・ボスコの教育理念である「愛情（信頼）」「理性（納得）」「宗教（祈り）」を根本にして、家庭との密接な連携を通して子どもたちの成長に寄り添う。
- ・幼児自身が愛されている体験を通して自ら神と人を愛する心を身に付け、豊かな品性と国際的素養を身に付け円満な人格形成を目指し、誠実な社会人になるように育成する。

=学年のねらい=

- | | | |
|-------|-------|---|
| <すみれ> | (3歳児) | 様々な環境に慣れ、園生活を楽しむ。 |
| <ゆり> | (4歳児) | 集団生活に必要な態度を身に付ける。
互いの気持ちを伝え合いながら友達と関わる。 |
| <ばら> | (5歳児) | 状況の判断力を養う。感謝と思いやりの心を育む。
好奇心を持ち、何事にも意欲的に取り組む。 |

(2) ドン・ボスコの教育の要約

子どもを教育するには、しっかり組み合わせた輪のような3つの場所が必要である。



----- 具体的にドン・ボスコの教育における宗教教育を実践するために

以下のようなことに取り組んでいく。

- ① 日常の保育の中での祈り、シスターによる宗教の時間
- ② 行事の中で：聖母祭、クリスマス会、創立者ドン・ボスコのお祝いなど
- ③ 保護者の希望者に向けて園長による月2回の聖書と祈りの集い、Sr.大澤の要理を行う。

(3) 教師（保育者）のあり方

1. 園の教育理念を深め、共通理解のもとに保育に取り組む。
2. 一人一人の園児に積極的に関わり、子どもの状況をよく把握する。
3. 子どもたちがのびのびと活躍できるような環境の整備を心がける。
4. 思いやりの心とけじめのある態度を、教師自らが手本となって示す。
5. 職員・園児・父母の相互間の報告、連絡、相談を密にし、常に反省する姿勢を持つ。
6. 月1回、サレジオ会司祭から要理教育についての研修を受け、カトリックの精神を身に付ける。（令和2年度は、副園長松尾神父による講話を予定）

(4) 家庭

1. 年頭、また参観などの機会に、教育理念を全保護者に伝える。
2. 家庭教育・幼稚園教育の大切さを理解して頂くよう、機会ある毎にお願いする。
（家庭と幼稚園の教育観の一致、協力をお願い。－公共ルールや、躾など－）
3. 親自身が子どものお手本になるよう心掛けていただく。

(5) 運営・経営における時代のニーズへの対応

子育て支援の強化

1. 保育時間・預かり保育時間の延長等
平成30年度より、各学年保育時間を30分延長した。また、平成29年度より預かり保育時間も最長18時までとした。2019年度も預かり保育の日数を増やすなどの改善を行い、保護者から一定の評価を得ている。子育て支援の取り組みを今後も継続しつつ、より保護者のニーズに応える対策を検討していく。
→結果的にはコロナ禍で状況は変化してしまったが、当初から預かり保育日数を増やし、午前保育の日数を減らす対策を取っていたので、コロナの状況に合わせて適用した。
2. 2019年度末に保護者アンケートを行った。就労している保護者も多い中、彼らの声に耳を傾け、短縮保育の日数を減らし、行事での保護者お手伝いの負担軽減策を検討するなど、できる限り改善していく。
→コロナ禍にあって、保護者参加の行事を中止し、保護者の負担は結果的に大きく減少した。従来の行事の在り方を見直す良い機会になった。

少子化・幼児教育無償化への対応

1. 令和2年度新入園の園児数は100名を下回り、厳しい結果となった。2019年10月より始まった無償化で、保護者の幼児教育への選択肢が広がったことも要因として挙げられるが、今後も地域において選ばれる園となっていくために、教育方針、教職員の意識、ニーズへの敏感な対応等、将来の展望を見越した計画が望まれる。
→2019年度末に行った保護者アンケートについて、本部の助力も受けて詳しい分析を行った。その結果、従来通り幼稚園の教育に期待する保護者、小学校受験を考える保護者が一定数いる一方で、園における教育以外のサービスの充実を切望する保護者も一定数いることも見えてきた。保護者の層が以前より広がり、的を絞ることが困難な状況ではあるが、募集も含めた今後の方向性、指針を検討するために貴重な機会、資料となった。

2. 2019年度の新しい取り組みとして園長によるブログを開設し、写真と文で園生活の様子が見えるようにしたことで保護者の好評を得た。今年度は、春から始まる募集活動においてPR動画をを用いた紹介などで保護者に伝わるメッセージを盛り込み、より良い園児募集につなげていきたい。

→幼稚園のPR動画を作成し、HPに掲載したところ多くの視聴があり、映像による効果を実感した。またコロナ禍のため作成した保護者や園児へのメッセージや保育内容の動画、見学会等の動画など、新しい取り組みに着手したことは評価できる。ただ、結果として募集は期待した成果が出なかったという事実もしっかり受け止め、更なる改善を求めている。

施設設備関係

1. 施設の老朽化が加速し、安全面での不安がある為、営繕の職員が常に園内を巡回し、早急な対応をしている。教職員一同綿密に連携をとり、引き続き園児の安全に努めていく。
→営繕担当者と教員の連携も出来、安全に考慮することが出来た。
2. 2019年度は、園舎と講堂のすべての照明をより安全なLEDライトに付け替え、園舎テラスのガラス屋根をプラスチックに交換し、排水パイプの劣化による漏水箇所を修理した。また保護者の活動のために本館2階母の会ホールに空調設備を整えた。年度末には一部トイレの改修工事を行う。
→長期休暇、週末を利用し、施設・設備の改修、修繕を進めることができた。また、防犯カメラを設置し、不審者対策を強化した
3. 今年度は、遊具の安全点検を行い、必要に応じて修理や撤去を行う。トイレの老朽化は募集にも関わる部分なので、可能な限り改修を行う方向で検討する。
→コロナによる休園期間に園舎1階の子供用トイレを改修し、園庭のブランコの取り換えを行った。夏季休暇には安全面で課題のあったジャングルジムの撤去を行った。

その他

1. 平成30年度、2019年度と、年度末に教員の働き方について話し合い、決めた方針を実行し、折に触れて振り返りの機会を持ち、働き方の改善に努めてきた。その効果を感じ、教職員の意識にも変化が表れてきている。今年度も継続してこの取り組みをしていきたい。
→全体的な働き方の改善に対する意識は高まっている一方で、効率を求めるあまり職員間の人間的関わりやお互いの仕事の質の向上に対する関心が弱くなっていることも感じる。コロナへの対応で余裕がなかったことも一因として挙げられる。
2. 幼児教育無償化に伴い、幼児教育現場の質の向上、教員の意識のさらなる向上が求められている。研修の機会を活用することに加えて、教員に他の園の見学などを随時行うよう促し、検討を重ねていくことによって、時代のニーズに合わせた保育の在り方を模索していきたい。
→コロナの慌ただしさもあり、研修の機会は多く設けることができなかった。個別に任せるよりも職場全体の雰囲気を高める研修の必要を感じる。一方で、募集に対する危機感の高まりから他の園での取り組みの情報を共有し、園として今までやったことのない新しい取り組みへの挑戦や学びの姿勢も見られた。次年度も継続して向上の意識を高めていきたい。

Ⅱ．財務関係予算方針

[基本方針案]

園舎建て替え計画

延期になっていた園舎の建替え計画を具体的に進めていく。本部と連携して頻繁な会合を実施していく。合わせて、今後の幼稚園運営の在り方についても引き続き検討を重ね、サレジオ修道会と連携し計画を作成していきたい。→本部と園長との会合を継続的に実施し、建て替え計画を具体的に進めていく下地が作られた。サレジオ修道会を交えての会合の機会も設けられた。

地方公共団体補助金

東京都補助金、預かり保育補助金ともに、前年度と同額を計上する。

→「私立幼稚園経常費補助金」については、減額となった。

東京都の「私立幼稚園コロナウイルス感染症対策補助金」、目黒区の「安全安心対策補助金」を申請し決定通知を受けた。

経費の削減

1. 消耗品の購入について、まとめ買い、使用方法などを見直し、経費節減に努める。
アスクルの代理店を変え、１０％割引サービスを利用している。
→引き続き、意識して取り組むことができた。
2. 廃棄物、廃材の処理の方法を無駄のないよう考えていきたい。
→廃棄物の処理は都度行い、園内を常に清潔に保つ意識を継続した。

6 足立サレジオ幼稚園

I 教育目標

1. サレジオ会の事業として、ドン・ボスコの教育法の3本柱である「宗教・愛情・納得」の実践に励む

① 宗教、道徳教育に力を入れる

・本年のサレジオ会のストレンナが「誠実な社会人、キリストに倣う者」なので、この目標を幼児に当てはまる言葉に置き換えて、保育において実践する。

➡ 週一回の教会での園長の話において、子どもたちに宗教的な話、道徳的な話を行った。また年間の宗教的な行事において、その行事の意味を子どもたちにも職員たちにも話をして、この目標の実践に努めた。また、月一回の保護者への園長の手紙で、社会生活における「誠実な社会人」の意味を理解してもらえるように努めた。

② 常に子どもに寄り添い、愛情に満ちた指導をする（アッシステンツァの精神）

・愛され、大事にされている実感が子どもに伝わるようにかかわる。

➡ 職員の皆で子どもたちが気持ちよく園での生活できるように関わった。特に他児と一緒に行動できない子どもについて、どのように導いたらよいか打ち合わせなどで検討し、子どもが安心してすこしづつでも幼稚園の活動に馴染めるように努めた。

③ 子どもが納得できる指導、関わりを行う（納得に基づく指導）

・子どもの話・気持ちをよく聞き、状況を把握して、子どもの納得が得られるように、分かりやすく、優しく導く。

➡ 子どもが何で泣いているのか、何で怒っているのか、何でイライラしているのか、子どもの気持ち考えをできるだけ言葉で表してもらって、一緒に考えて導くことに努めた。子どもが言葉にして自分の気持ちを表し、職員に聞いてもらえた結果落ち着くことができるようになった。また、声を出して挨拶することができない子ども、自分の思っている考えを声に出して言えない子については、焦らせることなく、少しずつアドバイスをし安心させることによって、一年後は挨拶もでき、舞台での表現活動においても苦手意識を持っていた子どもが立派に演技できるようになった。

④ 感動できる子ども

・植物を育てることを通して神さまが造られた自然の美しさすばらしさを味わえるように導く。

➡ アサガオやひまわり、サツマイモなどを植えてその生長ぶりを観察し、また花壇に植えられた花々を見て、自然の美しさや神秘さに気づくようになった。

教会での話の中でも神さまが創造された自然の美しさに触れる話をして、関心を高めた。

⑤ 自分の気持ちや考えを他人に伝えられる子ども

・場面に応じた適切な言葉遣いを教える

➡ 挨拶や返事、朝の会や帰りの会、食事の前後の祈り、などを通して、その時に必要なことばを伝えていった。

・集団生活に馴染むための力をつけさせる

➡ 年少・年中さんはまだ皆で一緒に動くことが苦手なので、楽しみながら繰り返すことで皆に合わせて動くことができるように、辛抱強く導いた

2. 教職員の資質の向上を目指し、保育内容の充実を図る

- ① 全職員が建学の精神、教育目標を心に刻む
 - ・カトリックの価値観を知り、実践する。サレジオの精神を知り実践する。
 - ・そのための資料を作り、伝える。
- ➡ 学期ごとの初めに園長がカトリックの価値観や、建学の精神などについて短い講話を職員に行った。分ちあいなどを通してもう少し理解は進むように努力したい。
- ② 障がい児、あるいはその線上にいる子どもの指導法、評価法を研究し実践する。
 - ・障がいを持つ子とその障がいのゆえに子どもたちの中で疎外されたり苦しむことのないように、子どもたちへの理解がすすむように工夫する。
 - ・そのうえで保護者の理解と協力のもとに適切なサポート機関につなげる。
 - ・サポート機関の評価を通して職員のアプローチの方法を工夫し、当該園児が安心して園で生活できるよう研究し実践する。
 - ・障がい児に関する外部研修に参加し、報告等を通じて園内での職員の共通認識とする。
- ➡ 区内の支援施設などの派遣を受けたり、見立てを伺ったりして、関わりの方策を探って、子どもの直接的な支援に当たった。子どもの動きも次第に良くなっていった。
- ③ 内外の研修会に積極的に参加する
 - ・園長による職員向けの講話を実施する
 - ・学期初めの職員会議等で年三回以上実施する。
 - ・保育に関する研修は特に夏の長期休業時に受講する。
 - ・サレジオ会連合会主催の新任研修に参加する
 - ・サレジオ家族教職員養成講座に参加する
- ➡ オンラインの限定配信などで、保育の考え方のお話を聞いたり、遊び歌のグループの指導を受けたりして保育のレベルアップに努めた。そのほかの園外の研修にはコロナ感染症のために参加が難しかった。サレジオ家族教職員養成講座はオンライン配信の参加であった。
- ④ 教職員の保育後の仕事内容を見直し、効率化を図る
 - ・保育実施の内容が午後の打ち合わせできめ細やかに報告されている利点を生かし、他人任せではない主体的に改善を行う
- ➡ バスの運転士兼用務員を採用することで、保育職員の製作準備作業内容を減らすことができたようになった。

3. 保育内容

- ① 行事
 - ・係分担を明示しつつ、他人任せにせず、係以外の人も積極的に協力する
 - ・行事ごとの反省を生かし、つねに改善する
 - ・行事の数、内容が子どもと職員、保護者の過負担にならないように、実施時期実施方法などを検討していく（令和3年度に向けて）
 - ・行事の意味、目的が子どもの保育にかなったものであるかを点検する
- ➡ 年間を通して行事などの反省を確実に実行した。特に今年はコロナ感染症の影響もあって、行事の目的や意義、実施方法の検討など多くの時間を割いて行った。
- ② 縦割り保育（異年齢交流保育）を充実させる
 - ・昨年度より実施してきた縦割り保育の利点をより発展させるために、行事等によって潰れ

がちな金曜日ではなく、火曜日に実施する

➡ 感染症予防のために異年齢の子どもの活動自体を自粛した。

③ 預かり保育

- ・ 預かり保育の実施・・・教育時間終了後 14:30～最長 17:30 まで実施する
- ・ 長期休暇中の預かり保育・・・春休み：5 時間、夏休み：5 時間、冬休み：5 時間
- ・ 保護者のニーズに応えるために、預かり保育の時間を延長することも検討しつつ、実現したい。

➡ 預かり保育担当者の途中退職により他の職員の負担が増えてしまった。保護者の希望には添えたと思う。

④ 未就園児クラス

- ・ ひよこ組の実施日数を週 3 日（母子分離型 2 日、親子参加型 1 日）とする
- ・ 0 歳から 2 歳児親子参加対象の「いちごクラブ」を月 2 回程度実施する
- ・ 未就園児のクラスを積極的に行うことによって、次年度の年少クラスの園児募集に大きな成果が出ていることを踏まえ、今年度も重点的に実施したい

➡ ひよこ組参加の子どもたちがほとんど入園したので、ひよこ組実施の成果はあった。ただ次年度のひよこ組の希望者が極端に少ないのが心配である。そのために園の保護者に声をかけて、ロコミやポスター配布などに協力してもらった。

Ⅱ.設備ならびに財務関係予算方針

Ⅰ. 職員の確保

- ・ 退職者が出ないようにすることはもちろんであるが、保育内容の充実、預かり保育の時間延長、未就園児クラスの充実のためには現在の職員体制では足りない。
- ・ また、職員が安心して休めるためにも、あと数名確保したい

そのためには、幼稚園教諭養成校とのパイプを太くし、広報手段をよく活用する

➡ 今年は二名の職員採用を考えていたが、採用に応じた二名の試験の結果、ピアノの実技で、一名だけの採用になった。

2. 映像機器を上手に使いこなすために、プロジェクター及びスクリーンを購入する

➡ 映像機器の購入で、行事等での内容の幅が広がって良かった。これからはもっと活用できるように利用技術を磨きたい。

3. 砂場の屋根が台風の被害に遭い壊れているので、早急に改修したい

➡ 5 月には改修できた。

4. 備品購入に関しては補助金を得られるように計画する

➡ コロナ感染症関係で補助金が出たので、主に消毒薬などに利用させてもらった。また他の物品についても、補助金で購入することに努めた。

5. 工事等の施行に関しては極力相見積もりを取る

➡ 対象となる工事などについては合い見積もりを取った。

6. 未就園児クラスに力を入れるためにはあと 1 クラス分の部屋が必要である。そのための検討を始める

➡ まだ提案する状況ではなかった。しかし園舎の返済が令和 6 年で終了予定なのでいまから具体的に計画を立てて実行できるようにしたい。

7. 令和3年度より入園金を1万円（現行3年保育は11万円、2年保育は10万円）アップする
➡ 令和3年度より入園金の1万円のアップを実施した。
8. 設備費の項目を立てて、令和2年度より徴収したい
➡ 本年度は令和3年度より施設設備資金を徴収できるように値上げする園則変更を行った。納付金項目は保育料のみであるが、その中に施設設備資金が含まれる

IV.その他

1. 教育経営の評価実施と報告書の作成
 - ・保育参観の実施➡新型コロナウイルス感染症予防のために保育参観は中止した。
 - ・監事監査の実施➡監事監査を実施した。
 - ・内部監査の実施➡内部監査を実施した。
2. 外部評価の実施（学校関係者評価の実施）
 - ・学校関係者評価委員会を設置する
 - ・理事長に提出し、ホームページ等で報告書を公表する
 - ➡ コロナ感染症予防のために会議等の集会在制限されたので、設置できなかった。

7 町田サレジオ幼稚園

I. 教育目標

創立者ドン・ボスコの教育理念である 愛情(信頼)・道理(納得)信仰(祈り)を基本とし、家庭と密接に協力しながら種々の経験を通して生きる力を育む。

幼児自身が愛されている体験を通して自ら神と人を愛する心、豊かな品性と国際的素養を身に付け円満な人格形成を目指す

1. 隣接する小山内裏公園や園庭での戸外遊びを通して自然とふれあいからだを使って健康に過ごす。
2. 異年齢間の交流を多く持ち、年長者は年下をいたわる心、手本になれるように行動する心、年少者は年上への憧れから挑戦しようとする心を育てる。
3. 発達が遅く、ケアの必要な数名の園児への対応とその他の園児のケアのバランスを考え、サポート体制を整える。

※ 3については必要に応じて、年度の途中からでもパートにサポートしてもらうことを検討する。

なお、サポートの必要な園児については専門機関（島田療育センター、町田市発達支援センター 相模原市発達支援センター 相模原市協同病院 横浜子ども病院など）との連携を取りながら教育を行う。
緊急事態宣言下の園運営

2020年4月、5月は国からの要請により休園。年度の初めのため必要文書の郵送。（4月5月の月初めに2回）また、園のホームページに動画を配信、各担任紹介や遊びの紹介園生活の案内等、随時立ち上げた。保護者には担任から直接自宅に電話で挨拶をする。

新2号認定児（特に介護施設、保育所、等のソーシャルワーカーの方）については保育を行った。管理職および専任2名で対応。

6月からは分散登園（各学年2組ずつの編成のため1日おきにどちらかのクラスが登園。）分散登園時も新2号認定児は対象とならない日も保育を行った。6月30日より全園児登園の保育となる

行事について 園児職員の感染予防と園児降園後の園舎内の清掃（除菌、消毒）を丁寧に行った。行事は年長のお泊り保育をとりやめデイキャンプ方式で半日を楽しく過ごした。その他の行事は大人の参加者や時間を短縮して行った。特に12月の発表会では3学年ずつに分け、園児は練習中マスクを使用していたが当日はフェースシールドを付け顔が見えるようにして行った。3学期のもちつきは餅をつくことの体験を行った。年長のお別れ遠足は近隣のカトリック教会を訪問しその後近くの全天候型室内遊び場でたのしく過ごした。卒園式は2019年度を参考に短時間で済ませた。新型コロナ感染予防の対策で細部にわたり配慮を要した1年であったが、子どもたちが体験を通して成長発達をする大事な行事については前述のように行うことができ保護者からも感謝の言葉をいただいた。園児、保護者、職員またその家族も感染者は出ずに終えることができた。

追記）2020年度年間を通して（SDGs達成に向けた幼児教育における取り組み）主に年長組が取り組んだ内容を東京都私学財団に報告。令和2年度の私立学校研究事業として報告集にて掲載。

— 募集に関して —

園則の定員を確保することが最終の目標であり今年度も3歳児60名の募集活動を展開する。本園の教育の信頼度、知名度を上げるための具体的な広報活動を行う。周囲の幼稚園の情報、地域の情報、在園する園児の父母たちからの情報を収集し地域に根ざした幼稚園を目指す。また昨年度のように園庭解放を行う。未就園児はプレクラスとしてののこぼと組週2回のクラスを2クラス例年通り行い、カンガル

ー広場（親子教室）は今までは週3回であったが週水曜日も行い週4回に増やす。未就園児の保育、また子育ての支援としていろいろなバリエーションのある教室を開き未就園児の人数の増加に取り組む。（特に1歳児）

＜園児募集につながる子育て支援の充実＞

① バリエーション豊富な子育て支援

0歳児から在園児、卒園児（兄弟）をも含めた幅広い子育て支援の実施

② 園児募集に直結するプレスクールの充実とともに子育ての相談に随時応じ信頼関係を作る。

③ 園庭開放、保育への参加、保育室開放等を毎月切れ目なく行い、なおかつプレスクール以外の無料で実施している活動に関しては町田市子ども生活部子育て推進課が毎月発行している町田市子育てひろばカレンダーに昨年度同様記載を依頼する。（町田市公式ホームページにもリンクしている）

④ ハ王子の子育て施設に毎月の未就園児の予定をおいてもらう

⑤ 在園児には預かり保育の拡充

早朝保育の開始（保育開始前8：00から9：00まで）

長期休み中の預かり保育の日数の増加（年間夏冬春合計40日実施予定、年度初めの春休み3日実施）と預かり時間の延長（8：00～18：00まで）

⑥地域のイベントに可能な限り協力し、本園の認識を広めるとともに積極的に会議に出向き 情報に収集に努める。

2021年度学校調査報告人数 101名 2020年度学校調査報告人数 94名

ー 教員の養成 ー

サレジオ会員を除く専任教諭8名のうち、4名がカトリックの信者という状況から、昨年度から実施している教職員要理を継続し、その回数を増やす。これを通してカトリック・ミッションスクールへの理解を深める。また、新規採用者2名はサレジオファミリー研修に年間を通して参加する。複数クラスの学年については経験者がイニシアチブを取り、園長、主任の助言の下、新任および経験の浅い教員を育成する。さまざまな教育機関（全国カトリック幼稚園連盟、私学財団研修、東京都私立幼稚園協会研修、町田私立幼稚園連盟等）が開催する幼稚園教諭の研修会に積極的に参加し、現場に学んだことを活かす。

Ⅱ. 財務関係予算方針

施設関係

建物の改修については、床下の水の対策、デッキの不具合の修理、蛍光灯の計画的な取り換えなど

備品調達

開園してようやく5年が経過し、大型の遊具の購入の予定はないが必要に応じて優先順位を決めて購入していく。

広報関係

開園して5年経過したが、まだまだ認知度を上げることが必要である。引き続き特にハ王子を重点に広報計画を展開することで本園の存在を広く伝える。

2020 年度未就園児および地域活動一覧 町田サレジオ幼稚園

名称 (担当)	対象 (年齢)	申込方法	費用	内容	活動日
ベビーマッサージ アリス代表片山千恵講師	生後 3 ヶ月～10 ヶ月	必要 (各回定員 12 組) 実施 月初日 10 時より電話受付	オイル代 300 円	ママと赤ちゃんとの癒しの ひと時を過ごしましょう	年 4 回 5 月・8 月・ 11 月・2 月
季節の手形足形アート ころりんこ渡邊美穂子講師	0 歳～2 歳まで	必要 (各回定員 15 組)	材料費 600 円	講師の先生と楽しく親子で アートに挑戦	年 4 回 4 月 7 月 10 月 1 月
カンガルー広場 (園長)	0 歳～2 歳まで (未就園親子)	不要	無料	※保育室開放 乳幼児親子 の自由遊び (応子育て相談)	毎週 火 水 木 金 10:00～11:30
エンジェルクラブ ～HOWDEE (はじめまして)～ (園長)	2018 年 4 月 2 日から 2019 年 4 月 1 日 1 歳児親子	必要 2020 年 3 月 2 日(金) 10:00 より電話受付	入会時 500 円 参加費 1 回 200 円	お母様の子育て応援のクラブ。 一緒に幼稚園でいろいろな活 動を楽しく過ごしましょう	年 15 回月曜日に開催 11:00～12:00
ペンギンクラス (園長)	2017 年 4 月 2 日から 2018 年 4 月 1 日 2 歳児親子	必要 募集中 定員 10～ 12 組 要 お問い合わせ	募集案内をご覧ください	前期 親子教室 後期 母子分離教室	前期 5 月～9 月 10 回 後期 10 月～3 月 13 回 9:30～10:45
こばとクラス/母子分離 (園長)	2017 年 4 月 2 日から 2018 年 4 月 1 日	定員達し募集停止 名	募集案内をご覧ください	母子分離保育	火木、水金の 2 コース
コアラの日 (担任)	2017 年 4 月 2 日から 2018 年 4 月 1 日 2 歳児	必要 (各回定員 15 名)	無料	幼稚園体験、先生と遊びま しょう	5 月 23 日 (土) 6 月 27 日 (土) 9:30～11:00
園庭開放 (園長)	未就園児親子	不要 (雨天中止)	無料	幼稚園のお兄さんお姉さん と一緒に遊んで踊ってね	年 10 回 市の子育て広報にて通知
土曜の広場 (地域開放) 園長、日本けん玉教会松永 義希会長)	在園児、その家族 (両親、祖父母、兄姉) 近隣の小学生および保護者 未就園児親子 近隣のシニアの皆様	不要	無料	昔遊び(けん玉教室) 園庭 遊び 保育室開放 (※)	年間 10 回 土曜日開催

